

奥州

お知らせ版

広報おうしゅう

市内全域で震度6弱を記録

「東北地方太平洋沖地震」緊急特集

奥州市内に大激震走る

3月11日午後2時46分。三陸沖を震源とする、震源の深さ約24キ、地震の規模を示すマグニチュード9・0という観測史上最大の地震が発生しました。市全域を非常に強い揺れが襲い、震度6弱を記録。市内に大激震が走りました。市は地震発生と同時に小沢昌記市長を本部長とする災害対策本部を設置。直ちに市内の被害状況の把握・対策に動き出しました。また、同日、市に対して災害救助法が適用されました。

道路の通行止めなど、大きな被害が発生し、物流がストップ。燃料や食料、日用品などの不足が続く中、16日には非常事態「節約宣言」を発表しました。

今なお余震が続いています。身の回りの安全に気を付け、1日も早い日常生活への復帰を目指し、共に力を合わせて頑張りましょう。

わたしたちも被災者のひとりですが、沿岸部の惨状はさらに深刻です。市は、沿岸部復興のために全力で取り組みます。市民の皆さんのご理解とご支援をお願いします。

■問い合わせ 市災害対策本部 (☎2111内線304、305)

■地震による被害

- 人的被害 死亡：0人、けが：6人、行方不明：0人
- 建物被害 半壊：1戸、一部破損：32戸
- 火災 建物火災：1件（江刺工業団地）
- 停電 地震直後に市内全域で停電。3月13日午後6時に復旧
- 電話 地震直後から市内全域で固定電話回線が不通。3月18日に復旧
- 断水 地震直後に市内一部を除き、市内全域で断水。3月17日に復旧
- 道路 地震発生後から市内数多くの場所で通行止め、片側通行規制が継続中（3月18日時点の情報）



地震によって大きく崩れた道路
(江刺区広瀬)